



令和3年度が始まりました

理事長 吉田由紀子

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に、全世界が振り回された一年でした。緊急事態宣言が2回出されましたが、まだまだコロナ感染者数は減らず、第4波が心配されています。そんな中で令和3年度が始まりました。

人類は、その長い歴史の中で感染症をいくつも体験してきました。でも、ホモサピエンスは、絶滅することなく、地球上の生き物の中で一番繁栄してきました。どんな生物でも、何らかのアクシデントで欠陥が生じてしまうことはあるでしょう。でも、欠陥品を不要としてきた生物がいるのでしょうか？ 当たり前前の存在として、助け合って生きてきた痕跡が、日本にも5000年前からあります。

命ある限り、共に助け合って生きること、この当たり前前のことが当たり前前に実現できるように、あかねの会では、われもこうのような人材や利用者の方が増えてほしいと願っています。具体的には、生活介護事業の拡充、重度対応型のグループホームの創設を当面目指していこうと考えています。土地、建物などの情報や、皆様のご協力を是非頂けたらと思います。よろしくお願いします。

新入職員紹介



生活支援部 支援員
O・Kさん

好きな食べ物：フルーツ全部
趣味：旅行、味噌・シフォンケーキ作り、
アロマテラピー

★4月から第四みずき寮を担当して頂く予定です。多彩な趣味をお持ちで不動産関係にも詳しいとのことですので、今後寮の新規開設等もお手伝い頂けると思います。



就労支援室 就労継続支援B型
支援員 S・Kさん

好きな食べ物：マカロン、パスタ、
辛い食べ物
趣味：昭和の喫茶店探し

★何に対しても今何をすべきかをしっかりと考え、取り組む姿勢が一生涯懸命で、とても頼もしい方です。

各部だより

就労支援部

「レストルーム美術館に向けて」

三井不動産様より、同社が経営する川口市の大型倉庫で働く職員の方たちが、休憩時間などに利用者さんの絵で疲れを癒せるのではないかという思いから、レストルームを装飾するお仕事の依頼を受け、あかねの会で働く各部署の利用者さんに「花」「のりもの」「自由画」等テーマを決めて絵を描いてもらいました。

絵の具やクレヨン、墨、アクリル絵の具等多くの画材や、絵筆だけではなくストローやスポンジなどのアイテムを用意し、まずは画材に慣れる事から始めました。当初はイメージする事や自身の思いを表現する事に困難さを感じている方も多くみられましたが、日を追うごとに自分から「やりたい！描きたい！」と積極的に作品創りに向かい合う姿へと変わって行きました。色彩感覚の素晴らしい方、ユニークな絵を描く方、時にはクスッと笑ってしまうような作品もあり日々大発見！！

の連続です。一人一人に合った声かけや言葉の選び方、環境作り等を模索しながら、利用者の皆さんが誰かのために役に立つ様な作品創りが出来るよう支援していきたいと思ひます。

